

2023年10月2日

MIRARTHホールディングス株式会社

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」による資金調達について ～ 安定的な財務基盤の確立に向けて ～

MIRARTHホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区／代表取締役：島田和一）は、この度株式会社三菱UFJ銀行（本店：東京都千代田区／取締役頭取執行役員：半沢淳一）が提供する「ポジティブ・インパクト・ファイナンス（資金用途を限定しない事業会社向け投融資タイプ）」による融資契約を当社として初めて締結し、資金調達を実施いたしました。

■ 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」とは

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」とは、国連環境計画・金融イニシアティブ（以下、「UNEP FI」）^{※1}により策定されたポジティブ・インパクト金融原則（以下、「PIF原則」）^{※2}および同実施ガイドラインに基づき、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、企業活動の継続的な支援を目的とした融資です。

本契約の締結にあたり、株式会社三菱UFJ銀行と三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が共同で策定した「ポジティブ・インパクト・ファイナンス フレームワーク」に基づき、当社グループの事業およびマテリアリティを中心に評価されました。また、同評価結果は、株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）より、UNEP FIによるPIF原則に適合している旨の第三者評価^{※3}を取得しております。

■ 本ファイナンスの概要および評価結果について

組成方法	シンジケート・ローン
締結日	2023年9月27日
融資額	65億円
アレンジャー/エージェント	三菱UFJ銀行
レンダー	16金融機関

当社グループでは、事業を通じサステナビリティ活動に取り組むことで、社会課題の解決とSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け貢献し、ステークホルダーの皆さまや社会から信頼を得て、永続的な発展を実現するため、以下のサステナビリティ重要テーマおよびマテリアリティを定めております。



サステナビリティ重要テーマ	関連するSDGs	方針	重要課題
価値あるライフスタイルの創造 新たな価値の創造により、人々の暮らしの豊かさの向上に貢献します。	  	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会課題やニーズの変化に対応した商品・サービスの提供。 ● 「LEBEN」「NEBEL」ブランドなど、居住者と周辺環境の調和したライフスタイルの提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活の多様化・グローバル化への対応 ● 少子高齢化・人口減少に伴うビジネスモデルの変化への対応
コミュニティの形成 地域社会・取引先・従業員など、ステークホルダーとのコミュニティを形成し、皆さまで共に発展します。	     	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方都市再生事業を通じた都市部と地方をつなぐ地方活性化への貢献。 ● リスク評価・管理の徹底によるリスク対応能力の向上。 ● 多様な人材が生き生きと働ける機会・環境の提供。 ● ステークホルダーとの対話を重視した、社会ニーズに応える企業活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市開発・街づくり ● コーポレート・ガバナンス体制の構築と維持 ● コンプライアンスの推進 ● 従業員の健康管理 ● 多様な人材の活躍推進
高品質で快適な空間の提供 お客様満足度の高い商品の提供を通じて、お客様の快適で安全な生活を支えます。	  	<ul style="list-style-type: none"> ● 独自のサービス品質管理システム (SQMS[®]) 活用によるお客さま満足度の向上。 ● 住まいに必要な性能を追求した、デザイン性と居住性を兼ね備えた住まいづくり。 ● 建物の快適性・機能性・安全性を向上させる定期修繕やリノベーションを通じた建物価値の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安心・安全な製品とサービスの提供 ● お客さま満足の向上 ● 建物価値の向上
環境・文化の醸成 環境問題に積極的に取り組むことで持続可能な社会へ貢献するとともに、学問・芸術などの精神活動の機会提供を通じて、生活水準の向上に貢献します。	   	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生可能エネルギー発電事業や環境性能の高い住宅供給を通じた温室効果ガス排出の削減。 ● 耐震性・防火性を備えた自然災害に強い住宅の提供。 ● ステークホルダーへの文化的活動の機会提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境・文化に配慮した建物と空間の提供 ● 地球温暖化への対応 ● 再生可能エネルギーへの取り組み ● 資源の有効活用 ● 災害への対応

詳細につきましては、以下のURLよりご覧ください。

<https://mirarth.co.jp/sustainability/strategies/materiality/>

本件締結にあたっては、当社グループのサステナビリティ重要課題を中心に設定した KPI から、特にSDGs の目標達成に対してインパクトのある項目が選定され、定性的・定量的に評価されました。選定されたインパクトの管理状況および目標達成状況については定期的にモニタリングが実施され、目標と実績は当社ウェブサイトや統合報告書などを通じて開示する予定です。

引き続き当社グループは「サステナブルな環境をデザインする力で、人と地球の未来を幸せにする。」という Our Purpose (存在意義)のもと、各マテリアリティの達成に向けた取り組みに限ることなく、すべてのステークホルダーとの対話を通じて、持続可能な社会の実現や、地域社会と共創することで、未来の街づくりに取り組んでまいります。

(参考)

2023年10月2日 株式会社三菱UFJ銀行 ニュースリリース

https://www.bk.mufg.jp/houjin/info/pdf/mirarth_seiyaku.pdf

- ※1. 国連環境計画（UNEP）は、1972年に「人間環境宣言」および「環境国際行動計画」の実行機関として設立された国連の補助機関です。UNEP FIは、UNEPと200以上の世界の金融機関による広範で緊密なパートナーシップであり、1992年の設立以来、金融機関、政策・規制当局と協調し、経済的発展とESG（環境・社会・ガバナンス）への配慮を統合した金融システムへの転換を進めています。
- ※2. UNEP FIが2017年1月に策定したSDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた金融の枠組みです。企業がSDGsの達成への貢献をKPIで開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供を行うことにより、資金提供先企業によるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を導くものです。融資を実行する銀行は、責任ある金融機関として、指標をモニタリングすることにより、インパクトが継続していることを確認します。
- ※3. 株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

■ 会社概要

商 号 : MIRARTH ホールディングス株式会社
代 表 者 : 代表取締役 島田 和一
所 在 地 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-2 鉄鋼ビルディング 16F
設 立 : 1972年9月
事 業 内 容 : グループ会社の経営管理等
資 本 金 : 4,819百万円
U R L : <https://mirarth.co.jp>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

MIRARTH ホールディングス株式会社
グループ広報部 広報課
担当 : 大島
Mail : gr.koho@mirarth.co.jp